

## 2025年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース			教科担任		
外国語	ハングル	2	3年次			金 美敬 小澤あづさ		
使用教科書	テーマで学ぶ韓国語		使用副教材					
科目の目標					道徳教育のねらい			
韓国語で表現する基礎的な能力を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てるとともに、言語や文化に対する関心を高め、国際理解の基礎を培う。前期では、文字が読めて書いて、簡単な会話や自己紹介ができるようにする。後期では、日常生活や韓国旅行などで使える会話を習得できるようにする。					韓国語の学習を通じて、多言語や異文化に対する理解を深め、広い視野を育成する。			
学習活動内容		育てたい6つの力(資質・能力)						
		1	2	3	4	5	6	
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知・協働 力	計画 実行力	
1	授業(文字の習得)	○	○					
2	授業(発音練習)	○	○					
3	授業(ペアワーク・グループワーク)				○	○	○	
4	韓国文化の理解					○		
5	定期考査		○	○				
6	小テスト		○					
評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		外国語表現の能力		外国語理解の能力		言語や文化についての 知識・理解	
	・「読む」「聴く」「話す」「書く」活動に積極的に取り組んでいるか。 ・自主的・主体的に授業に取り組んでいるか。		・言語表現を使用して、自分の生活に関することがらや意見・考えを正しく伝えることができるか。		・扱われている言語材料や文法事項を、場面や目的、状況に応じて適切に活用できているか。		・韓国語の学習を通して、言語やその使い方についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解しようとしているか。	
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。							
		授業での取組	課題への取組	定期考査	単元テスト	課題確認 テスト	その他の資料	
	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		◎	◎				
	外国語表現の能力		◎		○	◎		○
	外国語理解の能力		○		○	○		◎
	言語や文化についての 知識・理解		○	○	◎	◎		

# ハンゲル 授業計画

#

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月 (4)	韓国語の文字と発音(7)	韓国語の基本的な文字と発音を覚える。	ハンゲルと韓国語 子音 母音	前 期	
	5月 (8)	基本的な韓国語文法の整理と確認①(12) UNIT 01 自己紹介	よく使う挨拶の表現を身に付ける。 韓国語で自己紹介ができる。	終声子音 自己紹介・国名・言語		
	6月 (8)	UNIT 02 職業 UNIT 03 家族 前期中間考査		職業・職場 家族の名称		
	7月 (3)	UNIT 04 どこですか UNIT 05 何がありますか UNIT 06 いつですか 文法の復習と基本フレーズの練習(4)	韓国語の語彙力を高め、基本的な文の構成を理解させ、表現力を高める。	家周辺の建物 家・部屋の中のもの いろいろな行事		
	8月 (3)	UNIT 07 日常生活 UNIT 08 趣味 UNIT 09 何をしますか		日課・時間 趣味 曜日・週末活動		
	9月 (7)	基本的な韓国語文法の整理と確認②(24)	基礎的な文法事項の定着を図り、自分や身の周りのことについて表現する。			
後 期	10月 (8)	UNIT 10 食べ物 UNIT 11 ~するつもりです UNIT 12 交通手段		料理名・食べ物 余暇活動 交通手段・乗り場	後 期	
	11月 (7)	UNIT 13 韓国語学習 UNIT 14 ~したいです UNIT 15 これはいくらですか  UNIT 16 季節と天気 UNIT 17 体と健康	身近な話題を通して文化的共通点・相違点を知る。	学習関連の表現 約束・提案・同意・断り表現 買い物・ファッション  季節・天気 身体部位・病気と症状		
	12月 (5)	UNIT 18 恋愛と結婚 後期中間考査		人生と出会い・性格		
	1月 (1)	文法の復習と基本フレーズの練習(7) まとめ学習	韓国語による相互コミュニケーションを通し、互いを理解する。	既習の文法事項や表現を使って自分のことについて話したり、相手に質問したりする。(7)		